



広島市指定上下水道工事業協同組合 SDGs 宣言

当組合は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行って参ります。

2024年1月11日
広島市指定上下水道工事業協同組合
理事長 高原 豊明

当組合のSDGsへの取り組み

ライフラインは私たちが守ります



「安全でおいしい水」の供給と「快適な生活環境」の確保を通じて、地域の皆さまの快適な水環境を支え続けます。

【主な取り組み】

- ・災害時や寒波等異常事態発生時における応急措置体制の構築
- ・24時間365日体制での水道ライフライン復旧作業対応
- ・多岐にわたる上下水道行政への積極的な参加による社会基盤整備

地域社会への貢献



地域に根差した地で信頼できる工事業者の協同組合として社会的責任を認識し、地域経済活性化に向けた取り組み等を通じて、持続可能な地域社会の創造に努めます。

【主な取り組み】

- ・広島県の認定職業訓練校として上下水道に関する技術者の育成と資質向上を促進
- ・厚生労働省「無料職業紹介所」届出許可による働く場の提供
- ・地域活性化に向けた地元人材の積極的な採用
- ・地域清掃活動やボランティア活動、募金活動等の実施

地球環境への配慮



水道事業の一翼を担う協同組合として、省エネ・省資源化への積極的な取り組みを通じて、豊かな地球環境保全に貢献します。

【主な取り組み】

- ・タブレット使用によるペーパーレス化促進
- ・営業車両を低燃費車両に切替
- ・事業所内の照明LED化、省エネ設備の導入

働きがいのある職場づくり



安心して働ける職場環境の整備や積極的な人材育成への取り組みを通じて、従業員一人ひとりが健康でいきいきと活躍できる職場づくりを実践します。

【主な取り組み】

- ・育児休暇、有給休暇の積極的な取得推奨
- ・健康増進に向けた健康診断の実施
- ・資格取得費用の補助
- ・講習会の定期開催による教育の場の提供



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。
2030年までの国際目標（2015年9月に国連で採択）。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことをスローガンとしている。